

生涯健康・元気都市うえだ

# うえだスポーツ 振興ビジョン



財団法人  
上田市体育協会

## うえだスポーツ振興ビジョン

## 目 次

① 財団法人上田市体育協会の理念及び方向性	4
② 上田市におけるスポーツ振興を推進するにあたって	4
③ うえだスポーツ振興ビジョンの基本的考え方	
1 ビジョンの方針・スローガン・キャッチフレーズ	5
2 策定の主旨	6
3 スポーツの魅力	6
4 コンセプト	7
5 ライフステージにそった7つの運動によるスポーツのまちづくり	7
6 推進組織	8
7 計画期間	8
8 重点項目	8
④ ビジョンの目指す方向	
9 重点目標	
(1) 体育協会の組織充実	9
(2) 行政との連携強化	11
(3) 健康スポーツと競技スポーツの推進	12
(4) スポーツ少年団の充実	13
(5) 上田市の体育施設充実に向けての取り組み	14
(6) スポーツ観光・国内外スポーツ交流	15
⑤ ビジョン推進のための事業	15
⑥ (財)上田市体育協会うえだスポーツ振興ビジョン 策定の経過及び検討委員会名簿	16
⑦ 市民のスポーツに関するアンケート	18
⑧ 国・県・市のスポーツ振興施策の経緯	28
⑨ スポーツに関する国の関わり	29
⑩ 上田市スポーツ振興計画	31
⑪ (財)上田市体育協会・丸子体育協会・真田町体育協会統合に関する基本協定書	32

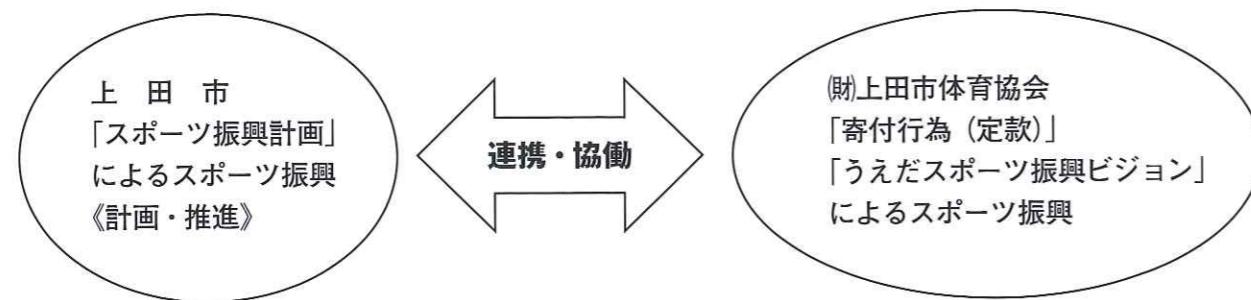
## ① 財団法人上田市体育協会の理念及び方向性

上田市体育協会は、「スポーツを振興して、市民の体力の向上とスポーツ精神の高揚を図ること（本協会寄付行為第4条）」を目的とし、その達成を図るために11項目にわたり事業の展開を位置づけている（本協会寄付行為第5条）。

一方、上田市は、「生涯スポーツ社会」の実現（～だれもが、いつまでも、スポーツに親しむことができるまちづくり～）を基本理念とし、平成23年3月、「上田市スポーツ振興計画」を策定した。

また、市は、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を実現することは、すべての人々に保障される権利の一つ」とし、「市民一人ひとりが目的に応じて、生涯にわたりいつまでもスポーツに親しめる環境づくりが求められており、多様化したニーズや課題に対して積極的に対応するためこの計画を策定した。（策定の趣旨）」としている。

本協会は、この「上田市スポーツ振興計画」が、本協会の目的及び事業の方向性に合致していることを共有し、上田市におけるスポーツ振興に寄与しなければならないと考える。



## ② 上田市におけるスポーツ振興を推進するにあたって

上田市のスポーツ振興を具体的に推進するにあたっては、「上田市スポーツ振興計画」を「縦糸」とし、上田市体育協会は「横糸」となって様々な事業を展開することが望ましいと考える。市民は、だれもがそのニーズに沿ったスポーツ（する、みる、ささえる、つなぐ）をとおして健康で豊かな生活を創造することが願いであり、この縦糸と横糸が綾なすことによって美しい模様に仕上げられた布こそが、上田市におけるスポーツ振興の着地点であると考える。



## ③ うえだスポーツ振興ビジョンの基本的考え方

### 1 ビジョンの方針・スローガン・キャッチフレーズ

#### ビジョンの方針

“生涯健康・元気都市うえだ”の実現

#### スローガン

明るく！ 楽しく！ 元気よく！  
あいさつがこだまする協会を目指して！

#### キャッチフレーズ

スポーツで地域づくり  
“いい汗”“いい顔”“いい仲間”

## 2 策定の主旨

スポーツは、人生をより豊かに充実させるとともに、身体的・精神的な欲求に応える世界共通の文化の一つである。

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠なものである。今後、高齢化の進展及び子どもたちにも及んでいるライフハザード（生活習慣の乱れ）や生活的の便利さ等から、体を動かす機会の減少が危惧される。こうした背景の中で、誰もが健康で明るい生活を営むために、生涯にわたりスポーツに親しむ習慣を求めるることは、極めて大きな意義を有している。

財団法人上田市体育協会（以下、「体育協会」という。）は、平成24年4月1日市内3体育協会（上田市・丸子・真田町）を統合し、スケールメリットを活かしながら各団体の有する専門性やノウハウを有効に活用かつ、上田市のスポーツ統括団体として地域の特性に配慮しながらその機能を發揮し、行政と体育協会が車の両輪となり一体となった生涯スポーツの振興に努めるものとする。

上田市教育委員会が平成23年3月策定した「上田市スポーツ振興計画」に呼応して、「うえだスポーツ振興ビジョン」を策定する。

本ビジョンを基に各種スポーツ活動を展開する中で市民の健康増進と競技力向上を図り、明るく楽しく元気な挨拶のこだまする“生涯健康・元気都市うえだ”的実現を目指す。

なお、本ビジョンでは、健康スポーツと競技スポーツを含めて、生涯スポーツとして位置付ける。

## 3 スポーツの魅力

スポーツの魅力は、礼に始まり礼に終わる「礼節」、技術追求のための「向上心」と理論習得等、自らの意欲を高めるための「精神力」、継続するための「忍耐力」、競技のための「集中力」、力を合わせ戦う「団結力」、指導者等に対する「感謝」、力ある者に対する「挑戦」、また記録向上等の活動を通して丈夫な体を作る。「瞬発力」「巧緻性」「敏しょう性」「柔軟性」の養成、発汗することによるストレスを解消、健康の増進、これらを通して豊かな人間性を育むことができる。

さらに、国・地域・民族・宗教を超えた「交流」と「感動」の恩恵と合せスポーツ本来の楽しさを享受することができる。

## 4 コンセプト

体育協会は、上田市のスポーツに関わる団体（行政、体育協会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、公民館、学校、育成会、保育園、福寿クラブ、民間スポーツクラブ等）の協働により“生涯健康・元気都市うえだ”の実現を目指し、「うえだスポーツ振興ビジョン」に基づき活動を行うものとする。

また、活動にあたっては、従来の縦割り的なものの考え方を見直し、生涯にわたりだれもがスポーツに親しめるような環境づくりを、それぞれの団体との連携の中で進めることが必要である。

コンセプトは次のとおりとする。

- (1) 事業は基本的に、その規模や内容に見合った経費とし、知恵と工夫と団体間の連携をもって、市民のための生涯スポーツをより豊かに充実させるためを行う。
- (2) 前例踏襲といった固定的なものの考え方から脱却し、新たなスポーツのまちを見据えた計画を順次行う。
- (3) 行政との連携は、掛け声だけで終始することなく眞の意味での協働で行う。
- (4) ライフステージに沿った事業展開を進めることにより、身体運動能力の向上と市民の健康づくり、ひいては医療費の削減も視野に入れた発想をもって行う。
- (5) スポーツは、市民に感動と勇気と元気を与えることから、トップアスリートを招へいした機会を設け、底辺の拡大を図り将来のトップアスリートの育成を行う。
- (6) 活動を推進するに当たっては、各競技の理論と技術の追求に励むとともに、文武両道の原点に立ち戻り、倫理を重んじ礼に始まり礼に終わる礼節と協調性等を備えた人づくりにも配慮した活動を行う。
- (7) 学校融合の視点から、小中学校等のスポーツ活動の支援を行う。

## 5 ライフステージにそった7つの運動によるスポーツのまちづくり

本ビジョンのコンセプトに基づき、ライフステージに合わせた次の7つの運動を行い、総合的な観点からスポーツのまちづくりを推進するものとする。

- (1) 幼児スポーツ ⇒ バランスのとれた体を育て楽しさを味わうための運動
- (2) 少年少女スポーツ（スポーツ少年団） ⇒ スポーツ種目との出会いと能力向上のための運動
- (3) 中学・高校・大学スポーツ ⇒ スポーツ種目の理論と技術習得のための運動
- (4) 健康スポーツ ⇒ 健康で楽しい生きがいづくりのための運動
- (5) 競技スポーツ ⇒ スポーツの頂点を目指す競技者のための運動
- (6) 運動能力向上プロジェクト ⇒ 将來のトップアスリートの育成のための運動
- (7) 障がい者スポーツ ⇒ リハビリ等や健康で楽しい生きがいづくりのための運動

## 6 推進組織

本ビジョンを推進するにあたり、体育協会内に事業の計画及び達成状況をチェックし、次のとおり各期ごとの評価と見直しを行う。

### (1) 「うえだスポーツ振興ビジョン推進会議（仮称）」の設置

- ① 計画内容の検討
- ② 達成状況のチェック及び評価
- ③ ビジョンの見直し

### (2) ビジョン事業内容の承認

- ① 毎年3月の理事会・評議員会において当該年度のビジョンに伴う計画を提案し承認を得る。
- ② 翌年5月の理事会・評議員会において当該年度のビジョンに伴う事業内容を報告し承認を得る。

## 7 計画期間

本ビジョンは、上田市スポーツ振興計画に併せ平成23年度から概ね10年間で実現すべき目標を定め、前期・中期・後期ごとに分けて推進する。

前 期：平成23年度～平成25年度

中 期：平成25年度～平成28年度

後 期：平成27年度～平成32年度

## 8 重点項目

### ○前 期：平成 23 年度～平成 25 年度

市内3体育協会の統合によるスケールメリットを活かしたスポーツ活動の推進と公益法人制度改革及び市内スポーツ施設の運営等の充実を図る。

- (1) 体育協会組織の充実
- (2) 体育施設の運営改善
- (3) 生涯（健康・競技）スポーツの推進

### ○中 期：平成 25 年度～平成 28 年度

2順目長野国体を視野に入れた競技力の向上と新たなスポーツ施設整備に向けた機運の醸成を図る。

- (1) トップアスリートの育成
- (2) 競技スポーツの振興
- (3) 体育施設の充実

### ○後 期：平成 27 年度～平成 32 年度

長野国体に向けた施設の充実と競技力及び健康スポーツの更なる充実を図る。

- (1) 体育施設の充実
- (2) トップアスリートの育成
- (3) 健康スポーツの推進

## ④ ビジョンの目指す方向

## 9 重点目標

### 〔目標1〕体育協会の組織充実

体育協会は、上田市のスポーツ統括団体として、加盟団体と協力し組織の充実強化を図る。

#### (1) 市内3体育協会統合の経緯

- |            |              |
|------------|--------------|
| ① 仮調印式     | 平成23年 4月 1日  |
| ② 本調印式     | 平成23年 12月17日 |
| ③ 加盟団体連絡会議 | 平成24年 2月13日  |
| ④ 統 合      | 平成24年 4月 1日  |

#### (2) 武石・菅平地域との一体感の醸成と連携

#### (3) 国の法律改正による公益法人制度改革に伴う対応

- ① 一般財団法人移行選択  
⇒ 平成23年3月23日理事会・評議員会で議決
- ② 理事・評議員数等新しい定款の変更  
⇒ 平成24年9月の理事会・評議員会に提案し承認を得る。
- ③ 移行登記  
⇒ 平成25年4月1日

なお、体育協会の名称は国・県等のスポーツ等の名称変更の動向を勘案して検討する

#### (4) スポーツの持つ効果を最大限に発揮するため、スポーツ関係団体が協力して推進する組織体制の構築

- ① 「健康スポーツ委員会（仮称）」の設置
- ② 「スポーツ医・科学委員会（仮称）」の設置
- ③ 新たな顕彰制度の検討
- ④ 専門委員会連絡会議の設置

#### (5) 総合型地域スポーツクラブとの連携

- ① 協働によるイベント等の開催
- ② 指導者等の人材育成と相互活用

- (6) 体育協会内に本ビジョンの目的達成と上田市スポーツ振興計画の推進を図るため、新たに総合的な推進機関の設置  
① 「スポーツ振興推進連絡協議会（仮称）」の設置（行政、体育協会、スポーツクラブ、スポーツ指導者、学校等）

- (7) 体育協会の広報情報システムの整備  
① 広報紙「体協うえだ」の配布地域の拡大（市内全地域回覧 平成23年8月実施）  
② 体育協会ホームページの開設（平成23年4月開設）  
③ 大会結果等のスポーツ情報発信コーナーの設置（平成23年11月UCVスポーツだより開始）  
④ 「体協うえだ」紙面の充実  
(a) 発行回数、紙面等の見直し  
(b) 全戸配布の検討

- (8) 効率運営のための自主財源の確保  
① スポーツ振興くじ（toto）等助成金の活用  
② 賛助会員の拡大  
③ 企業・団体等の寄付及びスポンサー大会の開催
- (9) 上田市議会スポーツ振興議員連盟との連携  
① 懇談会等の開催  
② スポーツ講演会の共催
- (10) 幅広い人材の登用  
① 産業・学校・官公庁等からの人材の登用  
② 上田市出身等のスポーツ関係者リストの作成と活用  
③ 有識者・著名人等との懇談会の開催

- (11) 体育協会組織の充実  
① 専務理事の常設  
② 事業推進のため、市職員の体育協会派遣及び事務局員の増員  
③ 加盟団体への指導及びアンケート・ヒアリング調査など連絡調整の強化

## 〔目標2〕行政との連携強化

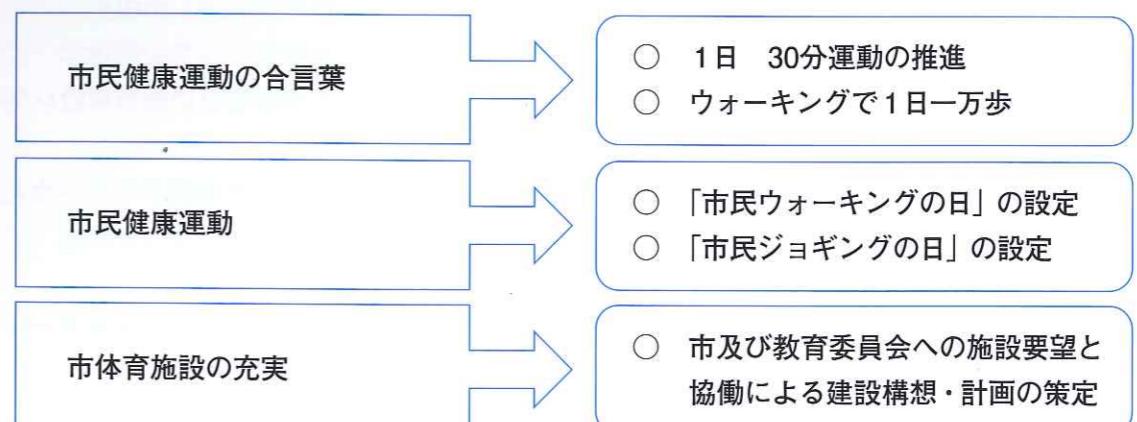
行政と体育協会が、それぞれのもつ役割を明確に分担し、協働により上田地域のスポーツ振興を開発する。

- (1) 上田市が平成23年3月策定した上田市スポーツ振興計画では、体育協会の役割は次のとおりである  
① スポーツを通じた市民の健康増進と明るい市民生活の実現を目指し、スポーツ大会やスポーツ教室の開催を通じて、競技力の向上とともに、スポーツ情報の提供や指導者の派遣など、市民がスポーツに親しめる機会の充実を図る。  
② スポーツ少年団を含めた各スポーツ団体の協働する核として体育協会が主導となり、スポーツ人口の拡大やスポーツの習慣化につながる活動を推進する。

### 市民のスポーツに関するアンケート結果（上田市教育委員会 平成23年8月実施）

- ① 週に1日以上スポーツをしている人は、上田市では33.5%、長野県の42.8%、国の45.3%を下回っている。
- ② スポーツをした人で、運動量については、71.9%の人が不足していると感じている。
- ③ 「どんなスポーツをしているか」では、ウォーキング、ゴルフ、健康体操、マレットゴルフなど、個人で行う種目を選択している。20代から40代では、野球、ソフトボール、サッカー、テニスといった団体スポーツや競技性の高い種目となっている。
- ④ 今後やってみたいスポーツとしては、(3)と同様な種目を選択している。
- ⑤ スポーツイベントで参加したい種目は、ウォーキング、マラソン、レクリエーションとなっている。
- ⑥ 市のスポーツ施設数では、不足しているが60%に達しており、施設要望としては、体育館、テニスコート、サッカー場の順となっている。

### (2) 市民アンケートを基に行政と一体となった新たな市民スポーツの展開と施設の充実に向けた取り組み



### 〔目標3〕健康スポーツと競技スポーツの推進

体育協会は、ライフステージにそった7つの運動により、幼児から高齢者までを対象に健康スポーツを推進すると共に発展して競技スポーツの振興を目指す。

【ビジョンにおける「健康スポーツ」と「競技スポーツ」とは】

「健康スポーツ」とは、健康体力づくりを主たる目的とした活動

「競技スポーツ」とは、技術の向上を目指し勝利や記録の更新を目的とした活動

#### (1) 健康スポーツの推進

① 本協会が行っている市民健康体力つくり事業の充実

運動を通して健康な体力づくりを進める全市的活動への展開

『第1段階』 ⇒ 拠点の充実（現状：上田城跡公園体育館 毎週木曜日に開催）

『第2段階』 ⇒ 千曲川左岸での活動展開

『第3段階』 ⇒ 丸子・真田・武石地区等全市的な活動の展開

(a) 指導者育成とモチベーション確保のため体育協会独自の指導者資格制度の創設

(b) スポーツ推進委員（旧体育指導委員）、公認スポーツ指導員、健康推進委員、社会福祉委員及び公民館分館社会体育部員との連携

② 年代層別による推進

『幼児期』 ⇒ 遊びを通しての運動の体験

(a) 運動遊びを中心としたスポーツ少年団の設置（平成23年度1団の設置）

『小学生期』 ⇒ 小学校のクラブ活動の指導者に社会体育関係指導者を紹介し、児童にスポーツの楽しさを体験させる

(b) 学校との連携組織の設置

『中学・高校生期』 ⇒ 中・高校の課外活動の指導者に社会体育関係指導者を紹介しスポーツの楽しさを体験させるとともに専門的な技術等の習得を目指す

(c) 学校との連携組織の設置

(d) 武道・ダンスの必修化に伴う指導者の派遣協力

『一般成人期』 ⇒ 運動する機会に恵まれない人やスポーツ活動に消極的な人に健康の大切さ、スポーツの楽しさを知るきっかけづくりを進める

(e) 市民ウォーキング・ジョギングの日の設置

(f) 日常生活の中で運動体験の協力

#### (2) 競技スポーツの推進

心技体の向上及び技術理論の習得に励み、医・科学的な視点から、指導者及び競技者のレベルアップを図る。

① 加盟団体と連携し選手強化の充実を図る

(a) 重点強化競技種目の充実（長野国体2順目の開催に向けて）

(b) 国体、全国大会上位入賞選手の育成

(c) オリンピック、アジア大会等国際大会出場選手の育成

② ジュニアアスリートの発掘・育成を図る

(a) 運動能力向上プロジェクトの推進

(b) スポーツ少年団・地域スポーツクラブとの連携

③ 中央（JOC委員など）より講師を招へいしての講演会・講習会の開催

④ コーチ・スタッフなど指導者のレベルアップと指導者養成を図る

(a) 年齢にあった運動能力開発のための講演会・講習会の開催

⑤ 競技団体とスポーツ少年団・地域スポーツクラブが連携し、一貫指導の共通認識を基本とした指導体制の確立を目指す

#### (3) 障がい者スポーツ体制の充実

加盟団体・関係各団体との連携のもと、障がい者のスポーツ実態の把握に努め、障がい者へのスポーツ指導を適切に行なうことができる指導者の養成とスポーツ大会の開催や参加が円滑に行われる環境づくりを推進する。

### 〔目標4〕スポーツ少年団の充実

体育協会は、青少年の健全な身体と精神の育成を図り、子どもたち（団員）にスポーツの楽しさと生きる力等を育む。

生きる力とは……………体力・食力（食欲）・眼力・気力（意欲）・学力 の総合した5つの力  
スポーツ少年団活動とは…体力のみならず生きる力をつくりだす大切な活動である。

“よく食べ”“よく眠り”、遊びや運動の中で学ぶと同時に、団体行動で“やる気”を高め、“先を見通す”力を育む。

提唱している言葉……………「早寝早起き、元気なあいさつ、朝ご飯」の実行。

#### (1) 子どもたちや地域社会のニーズに応える組織としての活動

① スポーツ少年団登録人数の充実

平成23年度（36団） ⇒ 平成26年度（44団） ⇒ 平成32年度目標（50団）

② スポーツ少年団登録団数の充実

(a) 後継者育成のため、加盟団体へ1団の設置

#### (2) 指導者の養成

① スポーツ少年団資格保有率の向上

上田市（平成23年度平均 55.2%） ⇒ 長野県目標（80%）〔参考：県平均（67.8%）〕

② 学校関係者の認定資格の取得

③ 指導者養成研修会の開催

#### (3) スポーツ少年団理念の徹底

① 指導者の勝利至上主義偏重からの意識改革

#### (4) トップアスリートを招へいした技術講習会の開催

① トップ技術の習得

② 指導者のレベルアップ

### (5) リーダーの養成

- ① スポーツ少年団卒団者が講師を務める講演会・講習会を開催し、団員に励みと夢を育み、団の活性化とリーダーの養成を図る

### (6) スポーツ少年団育成母集団の拡大

現在26団（平成23年度） ⇒ 全44団への設置（上田36団、丸子7団、真田1団）

### (7) 小中学校及び行政との連携

- ① 学校単位でのスポーツ少年団の設置（団員の充実、活動の活性化）
- ② 学校とスポーツ少年団役員との懇談会の開催（学校行事等日程の統一化等）

### (8) スポーツ少年団の円滑な運営のための財源確保

- ① 企業・団体等からの援助の検討
- ② ソンサー大会開催の検討
- ③ 収益事業等の導入検討

### (9) 小中学校及び行政との連携

- ① 県内外都市等との交流を促進・支援する
- ② 総合型地域スポーツクラブとの連携・協力
- ③ 地域スポーツクラブとの交流

## 〔目標5〕上田市の体育施設充実に向けての取り組み

上田市の体育施設は、県内に先駆け昭和3年から順次設置されてきているため、いずれも老朽化が進んでいる。こうしたことから体育協会は、上田城址内にある体育施設も含めた大規模な体育施設建設構想及び建設計画の策定に向けて行政と協働して作業を推進する。

### (1) 長期的な体育施設整備プランの策定に向けた調査研究の支援・協力

- ① 上田城跡公園内体育施設改修に伴う文化庁への意向確認
- ② 上田市へ要望する（平成23年7月）  
上田市教育委員会の回答・・・史跡内の体育施設の改修を行なうことは現在のところ困難との文化庁の見解が示された。
- ③ スポーツ施設の整備建設構想の策定に向けた調査研究の支援・協力
- ④ スポーツ施設の整備建設計画の策定に向けた調査研究の支援・協力
- ⑤ 県立武道館建設（総合体育館）誘致運動の推進

### (2) 地域スポーツ振興のため、長野国体の2順目開催を見据えた上田市開催予定競技種目の施設計

#### 画の策定

- ① 候補競技種目の調査・研究
- ② 行政と一体となった招致活動の推進

## 〔目標6〕スポーツ観光・国内外スポーツ交流

体育協会は、地域の活性化を目指し、上田市の歴史的遺産と自然を活かしたスポーツ観光イベントを開催し、観光振興・国際交流並びに上田市の発展の一助とする。

### (1) 上田市の史跡、観光資源を活用したスポーツ観光のまちづくりの推進

- ① 名所・旧跡・日本百名山等（四阿山・美ヶ原）を活用したウォーキング・トレッキングの開催
- ② 合宿および宿泊を伴う大会招致と高齢者や子どもたちを対象とした生涯（健康・競技）スポーツの全国大会などの招致活動の推進
- ③ 地域おこし事業等への参加・協力

### (2) 国際化社会の到来に合わせたスポーツ交流の推進

- ① 世界共通の運動プログラムを取り入れたイベントの開催
- ② 加盟団体やクラブチーム等への外国人選手・指導者の登用

### (3) 姉妹都市・友好都市等とのスポーツ交流の推進

- ① 加盟団体・スポーツ少年団等への交流拡大と支援  
【姉妹都市・友好都市】  
《国内》 鎌倉市（神奈川県）・豊岡市（兵庫県）・上越市（新潟県）・九度山町（和歌山県）  
練馬区（東京都）  
《国外》 寧波市（中国）・ブルームフィールド市（アメリカ）・ダボス町（スイス）

## 〔5〕ビジョン推進のための事業

体育協会は、全国の都市に先駆けて策定されたビジョンを力強く推進させるため、親しみやすい「色」・「歌」等で表現し、市内外にアピールするとともに、市民との一体感の醸成を図る。

### (1) 3体育協会統合を記念し全市民を対象としたイベントの開催

- ① 上田・丸子・真田地域等での歴史探訪ウォーキングの開催
- ② 元プロ野球選手を招へいした少年野球教室の開催
- ③ 元プロサッカー選手を招へいした少年サッカー教室の開催
- ④ プロゴルファーのレッスンが受けられるゴルフ大会の開催
- ⑤ その他各加盟団体が実施する各種イベントの開催

### (2) 「スポーツ健康都市宣言（仮称）」制定に向けた取り組みの推進

- ① スポーツ文化を更に醸成・発展させるため、各団体と連携し推進する。

## (財)上田市体育協会うえだスポーツ振興ビジョン 策定の経過

日 程	事 項	協 議 内 容
平成22年 9月14日	第1回検討委員会	○委嘱状の交付 ○諸問 ○正副委員長の選任 ○ビジョンの考え方について
平成22年 10月20日	第2回検討委員会	○体育協会の組織拡充について ○スポーツ振興全般について
平成22年 11月18日	第3回検討委員会	○競技力の向上について ①トップアスリートの育成について ②スポーツ技術講習会について ③大学・民間・スポーツ団体との連携について ④スポーツ医・科学との連携について
平成22年 12月21日	第4回検討委員会	○ビジョン数値目標のたたき台について ○体協加盟団体の組織について ○市民の生涯スポーツについて ①総合型地域スポーツクラブについて ②市民健康体力つくりについて ○スポーツ少年団について ○スポーツ振興全般について
平成23年 1月19日	第5回検討委員会	○意見集約について ○スポーツ振興について
平成23年 2月24日	第6回検討委員会	○行政との連携強化と学校等(保小中高大)への外部指導者派遣制度について
平成23年 5月26日	第7回検討委員会	○体育施設の充実について ○大会等情報システムの整備について ○新たな顕彰制度について ○国際スポーツ交流について
平成23年 6月23日	第8回検討委員会	○今後の進め方について ○基本目標・計画案について
平成23年 8月 2日	第9回検討委員会	○専門委員会報告について ○学社融合について
平成23年 8月16日	小委員会	○中学・高等学校体育連盟・大学との連携について ○総合型地域スポーツクラブと体育協会について
平成23年 8月24日	体育協会と上田市体育指導委員会意見交換会	○体育協会と体育指導委員会との連携について

平成23年 9月 6日	第10回検討委員会	○小委員会報告について ○今後の検討事項について
平成23年12月 8日	小委員会	○市民の生涯スポーツについて ①市民健康体力つくりの日活動の支援と拡大について ○競技スポーツ健康スポーツについて
平成23年12月13日	小委員会	○スポーツ少年団について ①現状と課題
平成24年 1月17日	小委員会	○国際・国内スポーツ交流について ○スポーツ観光について
平成24年 1月31日	第11回検討委員会	○スポーツ振興ビジョン(素案)について
平成24年 2月 3日	加盟団体・理事・評議員へのパブリックコメント	○スポーツ振興ビジョン(素案)について
平成24年 2月23日	第12回検討委員会	○スポーツ振興ビジョン(答申案)について
平成24年 2月29日	第13回検討委員会	○スポーツ振興ビジョンの答申について
平成24年 3月15日	理事会・評議員会	○スポーツ振興ビジョン(案)の報告・承認について

## 財団法人上田市体育協会ビジョン検討委員会名簿

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	涼 勉	(財)上田市体育協会副会長
副委員長	増沢 延男	(財)上田市体育協会副会長
委 員	丸山 俊治	(財)上田市体育協会副会長
委 員	松沢征太郎	理事・前専務理事
委 員	飯塙 義隆	さなだスポーツクラブ理事長
委 員	井出 康生	理事・施設専門委員長
委 員	岡村 徹	学識経験者
委 員	金子 政夫	理事・競技力向上専門委員
委 員	黒澤 弘幸	前競技力向上専門委員長
委 員	小林 哲夫	長野県体育協会評議員
委 員	佐野 正樹	上田市スポーツ少年団副本部長
委 員	清水 克也	理事・総務専門委員長
委 員	高田 忍	上田水泳協会会長
委 員	宮澤 恵子	理事・広報専門委員長
委 員	三好 健三	丸子バレーボール協会会長
事務局長	宮下 省二	(財)上田市体育協会
事 务 局	西川 孝昭	(財)上田市体育協会

## 市民のスポーツに関するアンケート 結果

### ○ 基本事項(性別・年令・回答率)

・回答率 36.0% (719 / 2000)

内訳 男性 32.0% (320 / 1000) 女性 39.0% (390 / 1000)

・年齢別の回答者数は 60 歳代が 173 人と一番多く、続いて 50 歳代、70 歳代となっている。

・20 歳代の回答者数が少なかった。(47 / 248)

年齢別	男性			女性			合計		
	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	発送数
20歳代	27	18.8%	144	20	19.2%	104	47	19.0%	248
30歳代	38	20.5%	185	55	35.5%	155	93	27.4%	340
40歳代	33	23.2%	142	63	43.4%	145	96	33.4%	287
50歳代	51	36.2%	141	71	51.8%	137	122	43.9%	278
60歳代	90	46.6%	193	82	52.6%	156	173	49.6%	349
70歳代	48	41.7%	115	57	41.3%	138	108	42.7%	253
80歳代以上	27	33.8%	80	39	23.6%	165	69	28.2%	245
年令未記入	6			3			11		
合計	320	32.0%	1000	390	39.0%	1000	719	36.0%	2000

### ○ あなたのスポーツ環境についてお聞きします。

問1 あなたはこの1年間に、スポーツをしましたか？

・スポーツを「した」人 61.3% (441 / 719)

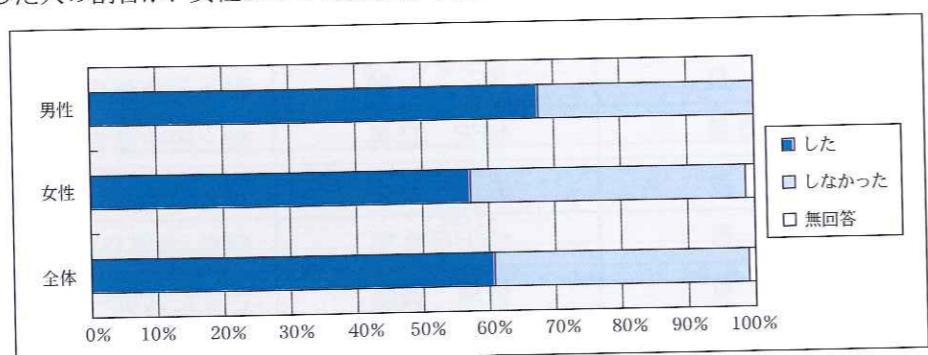
内訳 男性 67.2% (215 / 320) 女性 57.9% (226 / 390)

・スポーツを「しなかった」人 38.2% (275 / 719)

内訳 男性 32.8% (105 / 320) 女性 41.5% (162 / 390)

・スポーツをした人が男女ともに半数以上。

・男性のスポーツをした人の割合が、女性よりも 10% 多かった。



※スポーツを「した」と答えた人にお聞きします。

問1-1 どの程度のスポーツをしていますか？

・週に1日以上スポーツをしている人は 33.5% (男性 28.4%・女性 38.5%)。

・3人に1人が週に1日以上スポーツをしている。

・女性のほうが、週に1日以上スポーツをしている人の割合が多い。

・長野県の割合 42.8% (H22)

・国の割合 45.3% (H21)

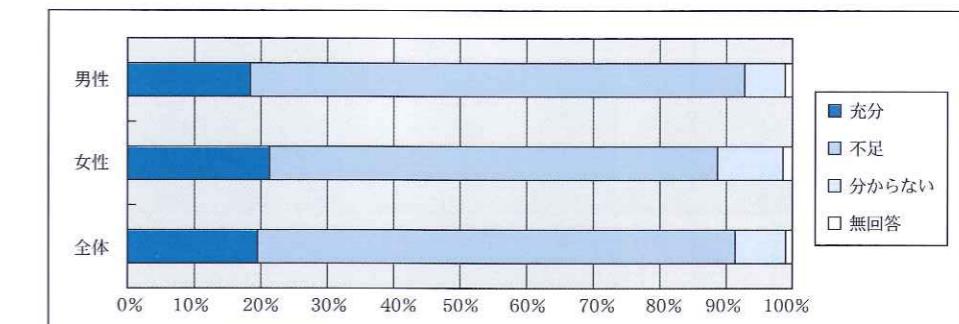
全体	週に1日以上	(毎日)		(週3~4日)		(週1~2日)		月2~3回		年1~3回		
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
20歳代	14	29.8%	0	0.0%	6	18.2%	8	24.2%	11	33.3%	7	21.2%
30歳代	27	29.0%	1	1.5%	6	9.2%	20	30.8%	18	27.7%	20	30.8%
40歳代	35	36.5%	8	13.1%	10	16.4%	17	27.9%	18	29.5%	8	13.1%
50歳代	35	28.7%	6	8.1%	12	16.2%	17	23.0%	25	33.8%	14	18.9%
60歳代	69	39.9%	16	14.2%	20	17.7%	33	29.2%	26	23.0%	16	14.2%
70歳代	44	40.7%	15	23.4%	17	26.6%	12	18.8%	12	18.8%	7	10.9%
80歳代以上	14	20.3%	4	15.4%	3	11.5%	7	26.9%	5	19.2%	5	19.2%
年令未記入	3		1		1		0		2			
合計	241	33.5%	51	11.6%	75	17.0%	115	26.1%	115	26.1%	79	17.9%

※「週に1日以上」の割合は、全回答者に対しての数値  
※その他の割合は、「した」と回答した者に対しての数値

※スポーツを「した」と答えた人にお聞きします。

問1-2 あなたのスポーツの量についてどうお考えですか？

- ・スポーツを「した」と答えた人のうち、現在の自身の運動量について「充分である」と回答した人は 19.5% (86 / 441) で、71.9% (317 / 441) の人は「不足している」と回答している。



※スポーツを「した」と答えた人にお聞きします。

問1-3 あなたがスポーツをする理由は何ですか？

- ・全体では「健康・体力つくりのため」263人、「運動不足を感じるため」148人と健康の維持等の目的で行う人が多かった。
- ・次に多かったのは「家族・友人・地域の人との交流のため」136人(合計)、「スポーツを楽しむため」110人、「ストレス解消・爽快感のため」54人。
- ・20 歳代から 50 歳代の人では「美容・ダイエットのため」と回答した人も 41 人と多かった。

※スポーツを「した」と答えた人にお聞きします。

問1-4 どんなスポーツをしましたか？

- ・男性 1位「散歩・ウォーキング」71人 4位「スキー・スノーボード」36人  
2位「ゴルフ」58人 5位「ジョギング・ランニング」、「登山・ハイキング」31人  
3位「マレットゴルフ」38人
- ・女性 1位「散歩・ウォーキング」105人 4位「登山・ハイキング」32人  
2位「健康体操(ラジオ体操等)」52人 5位「マレットゴルフ」31人  
3位「ストレッチ」37人
- ・個人で、気軽に出来るスポーツをしている人が多い。
- ・20 歳代から 40 歳代では「野球」「ソフトボール」「サッカー」「テニス」といった、団体スポーツや競技性の高いスポーツをしている人も多い。
- ・60 歳以上では「マレットゴルフ」の人気が高い。

※スポーツを「しなかった」と答えた方にお聞きします。

問1-5 あなたがスポーツをしない理由は何ですか？

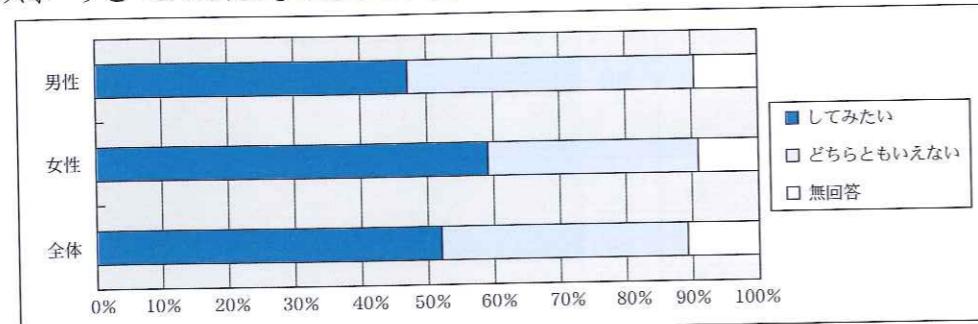
- ・「家事や仕事が忙しい」98人、「歳をとったから」57人、「ケガや病気のため」50人。
- ・60 歳以下では、仕事や家事が忙しくスポーツをしない人が多い。
- ・20 歳代、30 歳代の女性では「子どもが小さい」を理由にする人が多い。
- ・「運動が好きではない」26人、「他に興味がある」38人、「特に理由はない」39人。
- ・「身近に場所がない」26人、「仲間がない」34人。

	家事や仕事が忙しい	身近に場所がない	指導者がいない	仲間がない	お金がかかる	やりたいクラブがない	運動が好きではない	他に興味がある
男性	35	8	0	11	5	3	7	17
女性	60	18	8	23	9	4	19	21
全体	98	26	8	34	14	7	26	38
	子どもが小さい	ケガや病気	歳をとったから	面倒だから	人間関係がわざわざない	特に理由はない	その他	
男性	1	19	22	5	2	24	5	
女性	18	29	32	7	5	15	10	
全体	19	50	57	13	7	39	15	

※スポーツを「しなかった」と答えた方にお聞きします。

問1-6 今後条件がそろえばスポーツをしたいですか？

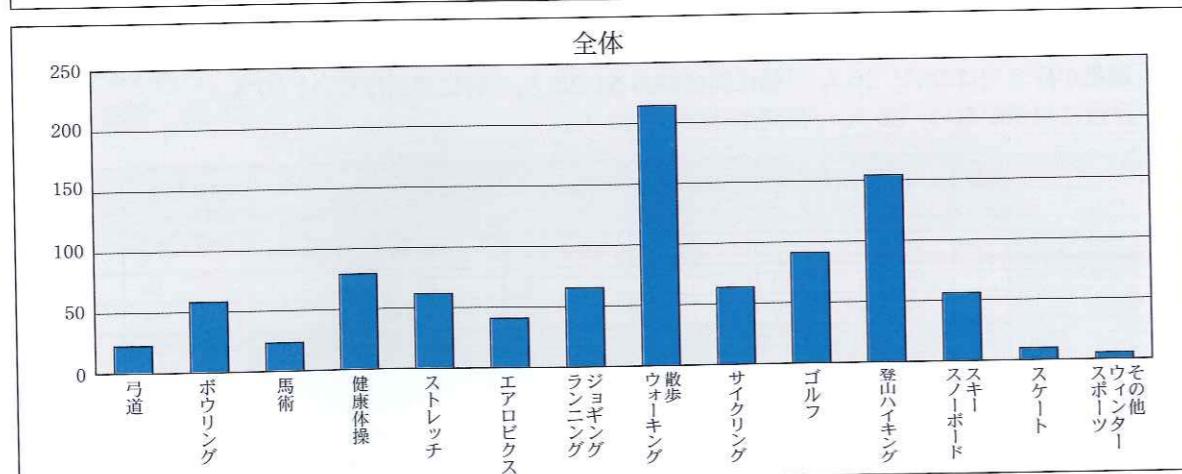
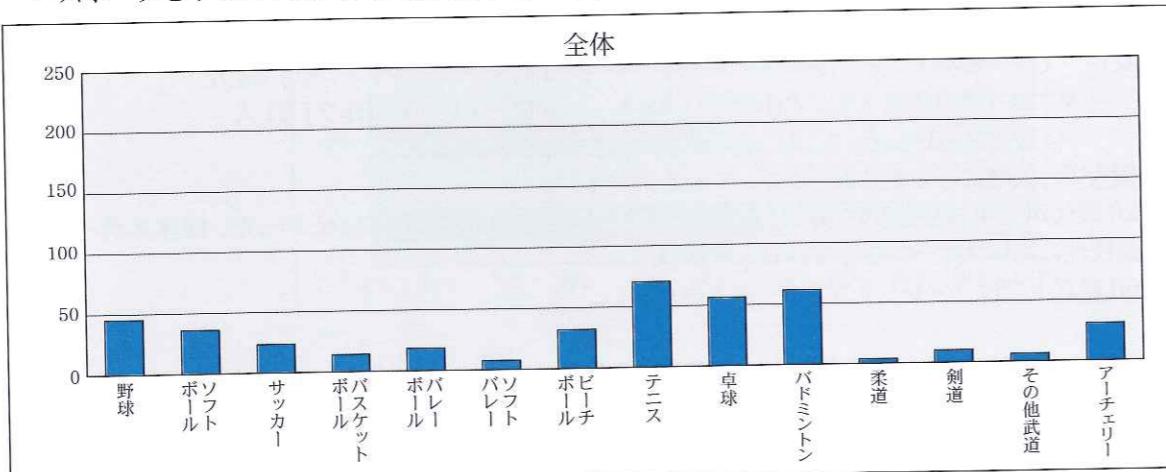
- ・「してみたい」53.1% (146 / 275)、「どちらともいえない」36.7% (101 / 275)
- ・半数以上の人人がスポーツを「してみたい」と思っている。



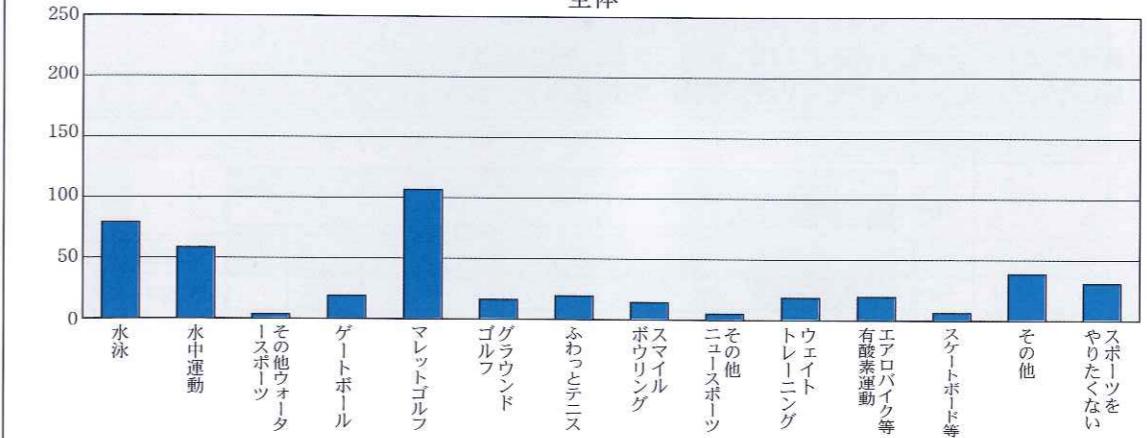
#### ○ 今後のスポーツについてお聞きします。

問2 あなたが、今後やってみたいスポーツは何ですか？

- ・男性 1位「散歩・ウォーキング」90人 4位「マレットゴルフ」52人  
1位「登山・ハイキング」90人 5位「ジョギング・ランニング」40人  
3位「ゴルフ」65人
- ・女性 1位「散歩・ウォーキング」126人 4位「ストレッチ」53人  
2位「健康体操（ラジオ体操等）」70人 5位「マレットゴルフ」49人  
3位「登山・ハイキング」65人
- ・「している」スポーツと「やりたい」スポーツがほぼ同一の種目になっている。
- ・その他に全体で多かったスポーツ「テニス」64人、「バドミントン」60人、「ボウリング」60人、「サイクリング」66人、「スキー・スノーボード」60人、「水泳」76人。
- ・「スポーツをやりたくない」と回答した人は34人。



#### ○ 全体



問3 市の開催する大会、イベント等で参加してみたいものは何ですか？

(参加したことのあるものも含みます)

- ・「ウォーキングイベント」164人、「マラソン大会、駅伝大会」68人、「レクリエーションイベント」66人と回答した人が多かった。
- ・「特に無い」と回答した人は292人で、もっとも多い回答だった。
- ・男性では「ゴルフ大会」38人、女性では「初心者スポーツ教室」38人と回答する人も多かった。

問4 スポーツのため、あなたは月平均どのくらいの経費であれば、活動に取り組みますか？経費は継続的なもの（会費、参加料等）で道具・ウェア等の一時的な経費は含みません。

- ・「1,000円以上3,000円未満」133人、「1,000円未満」144人、「3,000円以上5,000円未満」133人。
- ・男性では、「5,000円以上10,000円未満」29人、「10,000円以上」20人と高額的回答をした人も多い。
- ・女性では「10,000円以上」と回答した人は3人。

	1,000円未満	1,000円以上～3,000円未満	3,000円以上～5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上
男性	63	100	59	29	20
女性	80	144	74	21	3
全体	144	245	133	51	23
	20.0%	34.1%	18.5%	7.1%	3.2%

#### ○ 「みる」スポーツについてお聞きします。

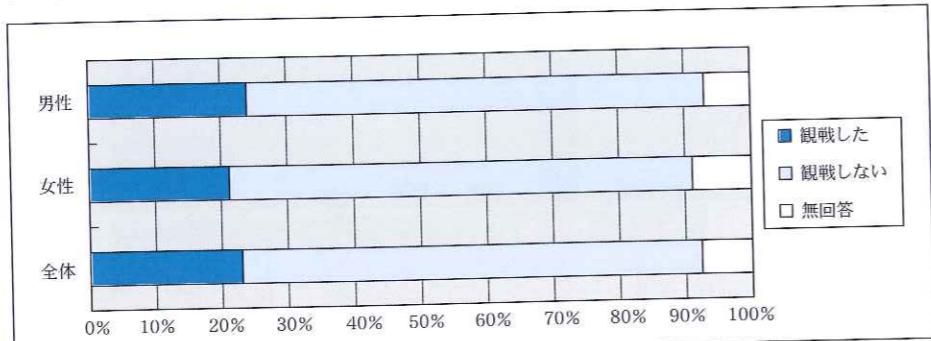
問5 あなたがよく見るスポーツ中継は何ですか？

- ・男性 1位「野球（高校野球含む）」199人 4位「ゴルフ」106人  
2位「サッカー」166人 5位「相撲」74人  
3位「マラソン・駅伝」118人
- ・女性 1位「フィギュアスケート」181人 4位「サッカー」134人  
2位「バレーボール」158人 5位「マラソン・駅伝」133人  
3位「野球」157人
- ・全体 1位「野球（高校野球含む）」359人 4位「バレーボール」231人  
2位「サッカー」301人 5位「フィギュアスケート」230人  
3位「マラソン・駅伝」253人
- ・「野球」「サッカー」「マラソン・駅伝」は全体でも人気が高い。
- ・男性は「ゴルフ」「相撲」の人気が高い。
- ・女性は「フィギュアスケート」「バレーボール」の人気が高い。
- ・ほとんどスポーツ中継を見ないという回答68人（男性19人、女性47人）。

問6 あなたはこの1年間に、実際に競技場等に行ってスポーツ観戦をしましたか？

(子どものスポーツ観戦・応援も含む)

- ・「観戦した人」23.5% (169 / 719 男性79人、女性89人)
- ・「観戦しなかった人」69.3% (498 / 719 男性223人、女性269人)



※「観戦した」と答えた方にお聞きします。

問6-1 観戦したスポーツは何ですか？

- ・男性 1位「野球（高校野球含む）」45人  
2位「サッカー」14人  
3位「バレーボール」9人  
4位「テニス」6人  
5位「ゴルフ」5人
- ・女性 1位「野球」31人  
2位「サッカー」21人  
3位「バレーボール」13人  
4位「テニス」12人  
5位「バスケットボール」9人
- ・「野球」「サッカー」では、プロ野球、高校野球、Jリーグ、JFL等の有料での観戦をした人もいるが、他は市の体育館や学校体育館等での子供の応援が多い。

問7 あなたが今後観戦してみたいスポーツは何ですか？

- ・男性 1位「野球（高校野球含む）」181人  
2位「サッカー」112人  
3位「マラソン・駅伝」69人  
4位「ゴルフ」63人  
5位「相撲」53人
- ・女性 1位「フィギュアスケート」174人  
2位「野球（高校野球含む）」124人  
3位「サッカー」98人  
3位「バレーボール」98人  
5位「マラソン・駅伝」62人
- ・全体 1位「野球（高校野球含む）」307人  
2位「フィギュアスケート」225人  
3位「サッカー」210人  
4位「バレーボール」139人  
5位「マラソン・駅伝」132人
- ・テレビでよく見る種目を「観戦したい」と思っている人が多い。
- ・「観戦したくない」と回答した人は69人（男性19人・女性49人）
- ・「フィギュアスケート」「ゴルフ」などの市内では開催が出来ない種目もある。

合計	野球	ソフトボール	サッカー	バスケットボール	バレーボール	テニス	卓球	ラグビー	バドミントン	柔道
20歳代	15	3	16	6	7	4	3	1	1	0
30歳代	38	3	35	8	13	9	0	3	2	4
40歳代	38	4	37	6	16	14	2	5	5	2
50歳代	54	7	40	13	27	8	0	3	4	3
60歳代	82	8	42	6	41	7	10	4	4	6
70歳代	49	8	29	3	23	7	7	1	3	4
80歳代以上	25	0	9	0	9	2	2	0	0	3
年令未記入	6	1	2	0	3	1	0	0	0	0
合計	307	34	210	42	139	52	24	17	19	22
	42.7%	4.7%	29.2%	5.8%	19.3%	7.2%	3.3%	2.4%	2.6%	3.1%

合計	剣道	相撲	その他武道	アーチェリー	弓道	ボウリング	馬術	マラソン駅伝	陸上競技	ボクシング
20歳代	1	1	0	1	0	2	2	2	0	1
30歳代	2	5	0	2	0	2	2	6	6	3
40歳代	3	4	1	0	1	0	2	8	6	4
50歳代	1	8	0	1	1	1	0	19	6	3
60歳代	3	23	0	5	1	1	2	50	18	10
70歳代	2	17	0	2	4	1	2	26	6	5
80歳代以上	1	19	0	0	1	0	0	19	5	0
年令未記入	0	0	1	0	2	0	0	2	1	0
合計	13	77	2	11	10	7	10	132	48	26
	1.8%	10.7%	0.3%	1.5%	1.4%	1.0%	1.4%	18.4%	6.7%	3.6%

合計	総合格闘技	ゴルフ	スキースノーボード	スケート	フィギュアスケート	その他ウィンタースポーツ	水泳	その他ウォータースポーツ	スケートボード・インラインスケート等	その他	観戦したくない
20歳代	2	3	6	0	15	0	1	1	4	2	8
30歳代	11	9	7	2	25	2	6	0	4	4	7
40歳代	1	8	8	1	39	1	4	1	3	3	7
50歳代	5	13	3	0	48	1	7	1	1	3	17
60歳代	8	40	7	7	60	3	8	1	2	6	16
70歳代	3	13	1	5	26	1	4	1	1	5	8
80歳代以上	1	5	0	1	10	0	2	0	0	0	6
年令未記入	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0
合計	32	92	32	16	225	8	33	5	15	23	69
	4.5%	12.8%	4.5%	2.2%	31.3%	1.1%	4.6%	0.7%	2.1%	3.2%	9.6%

### ○ スポーツを「ささえる」活動についてお聞きします。

問8あなたはこの1年間にスポーツにかかるボランティア活動をしたことがありますか？

- ・男性「ある」10.9% (35 / 320) 「ない」88.1% (282 / 320)
- ・女性「ある」7.7% (30 / 390) 「ない」86.4% (337 / 390)
- ・全体「ある」9.0% (65 / 719) 「ない」87.1% (626 / 719)

※「ある」と答えた方にお聞きします。

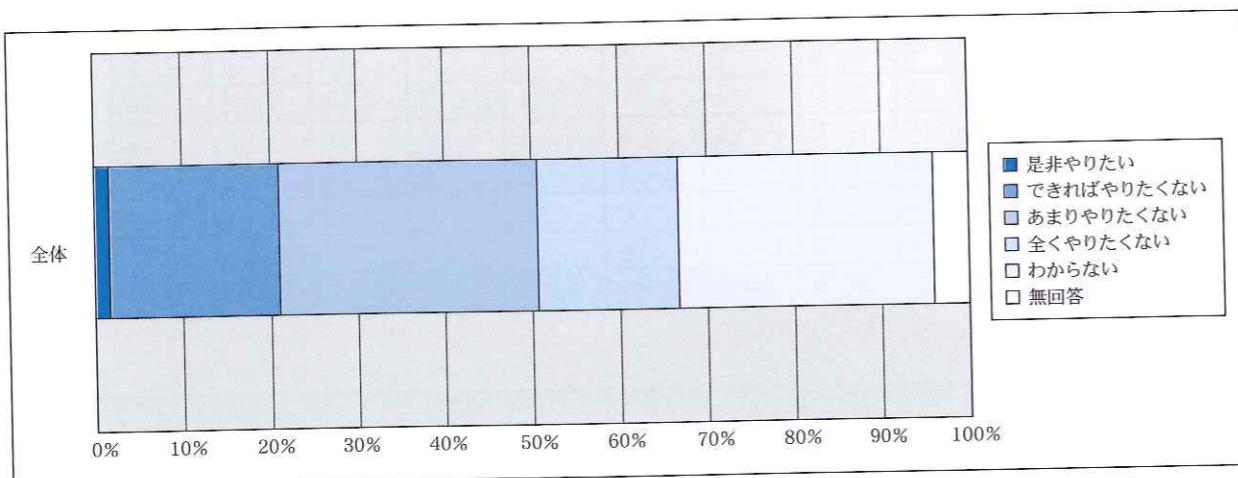
問8-1 それはどのような活動ですか？

- ・「指導・コーチ」21人
- ・「審判・競技役員」28人
- ・「子どものスポーツ活動の手伝い」26人
- ・「大会・イベントの手伝い」27人
- ・「クラブ・団体等の運営・活動の手伝い」20人
- ・「スポーツ少年団などの子どものスポーツ活動に関わる人が多い。」

※「ない」と答えた方にお聞きします。

問8-2 機会があれば、スポーツに関するボランティア活動をしたいと思いますか？

- ・「是非やりたい」11人
- ・「できればやりたい」120人
- ・「あまりやりたくない」184人
- ・「全くやりたくない」101人
- ・「わからない」185人
- ・スポーツを支える活動を「やりたい」と回答した人が20.9% (131 / 626) いた。



### ○ 総合型地域スポーツクラブについてお聞きします。

問9 あなたは、上田市内で活動している総合型地域スポーツクラブについて知っていますか？

- ・「加入している」12人
- ・「知っている」71人
- ・「聞いたことがある」126人
- ・「知らない」457人
- ・「知らない」と回答した人 63.6% (457 / 719)

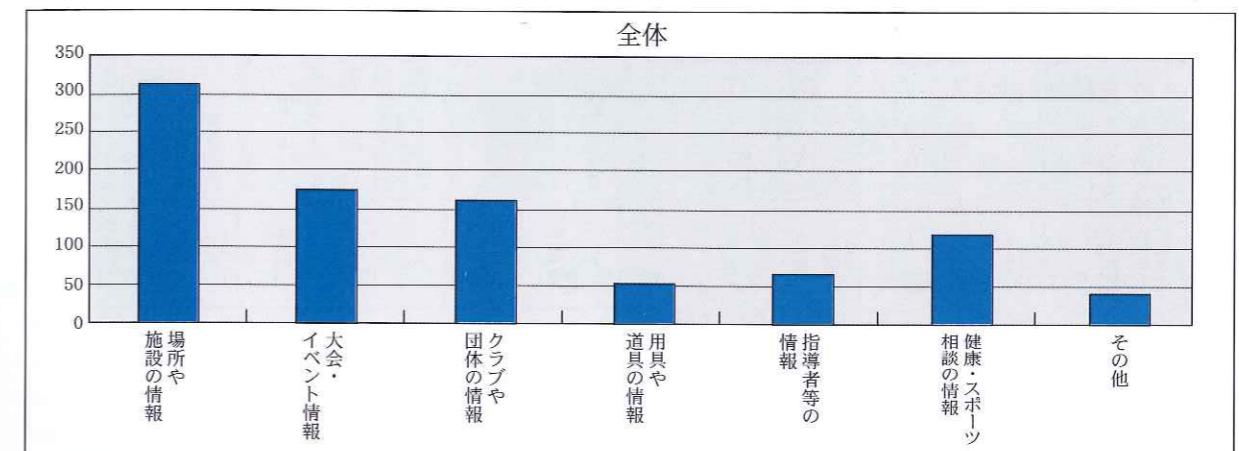
### ○ スポーツに関する情報についてお聞きします。

問10 あなたは普段、スポーツに関する情報（大会、イベント開催、大会結果など）はどこから得ることが多いですか？

- ・「広報うえだ」392人
- ・「友人や知人」154人
- ・「回覧板」147人
- ・「ポスター・チラシ」87人
- ・「ケーブルテレビ」77人
- ・「その他」と回答する人 76人。「その他」の中では新聞、子どもの学校からの情報等の回答が多かった。
- ・市のホームページ等のインターネットと回答した人 45人。

問11 スポーツに関する情報で不足していると思われるものは何ですか？

- ・「スポーツのできる場所や施設の情報」316人
- ・「スポーツ行事・大会やイベントについての情報」177人
- ・「スポーツクラブや団体、同好会等についての情報」168人
- ・「健康・スポーツ相談についての情報」115人
- ・「スポーツ指導者等についての情報」64人



### ○ 上田市のスポーツ施設についてお聞きします。

問12 あなたがよく利用するスポーツ施設は、何処ですか。

- ・「公共スポーツ施設」234人
- ・「学校体育施設（小・中学校）」127人
- ・「民間スポーツ施設」70人
- ・「民間会員制スポーツクラブの施設」48人
- ・「職場のスポーツ施設」11人
- ・「その他」78人
- ・「その他」と回答する人の中では、公園や公民館、ジョギングやウォーキングで使用する道路、自宅等の回答があった。

問13 あなたは上田市の公共スポーツ施設を利用したことがありますか？

- ・男性「ある」53.4% (171 / 320) 「ない」40.3% (129 / 320)
- ・女性「ある」47.7% (186 / 390) 「ない」42.1% (164 / 390)
- ・全体「ある」49.9% (359 / 719) 「ない」41.4% (298 / 719)
- ・市の公共施設は半数の人が利用している。

※「ある」と答えた方にお聞きします。

問13-1 どの施設を利用しましたか？

- ・「体育館」171人
- ・「プール」125人
- ・「小・中学校体育館」111人
- ・「グラウンド（多目的・河川敷等）」109人
- ・「マレットゴルフ場」99人
- ・「小・中学校グラウンド」78人
- ・「屋外テニスコート」65人（「屋内テニスコート」22人）
- ・「野球場」44人
- ・男性はグラウンド、野球場、体育館の利用が多い。
- ・女性は体育館の利用が多い。
- ・50歳代から70歳代ではマレットゴルフ場の利用が多い。

※「ある」と答えた方にお聞きします。

#### 問13-2 利用した施設使用料についてどう思われますか？

- ・「適當である」165人
- ・「高い」51人
- ・「安い」21人
- ・「料金を知らない」168人
- ・団体等での利用が多く、個人では使用料を支払わないと「料金を知らない」と回答した人が多かった。
- ・マレットゴルフ場やプール等の個人利用施設の使用料についての回答が多かった。

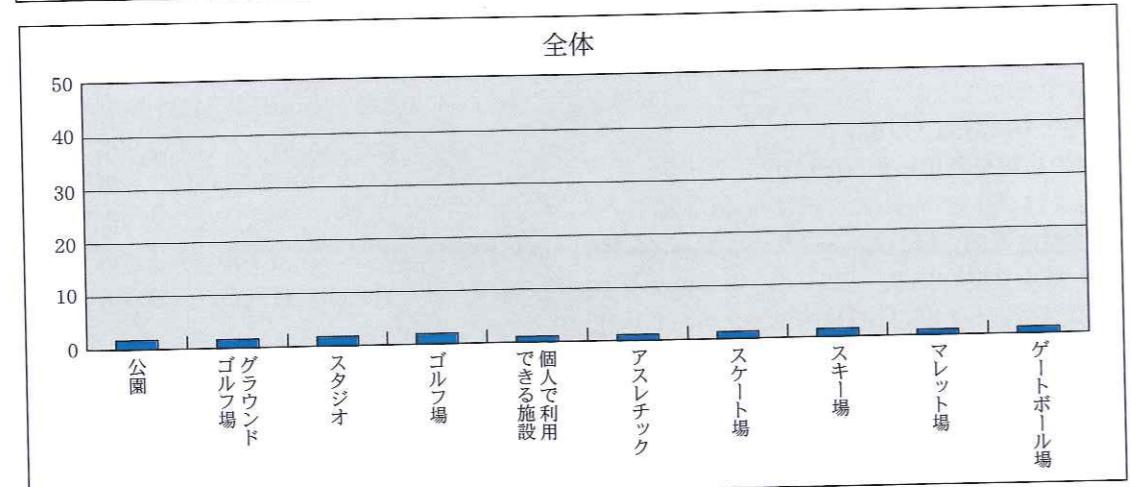
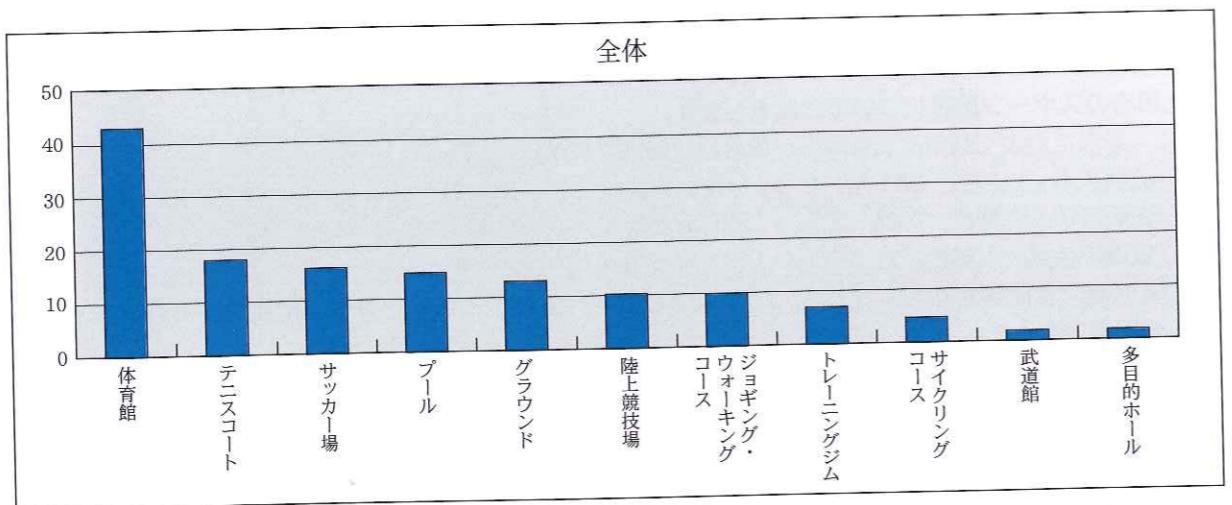
#### 問14 上田市のスポーツ施設の数についてどう思われますか？

- ・「充分である」73人
- ・「不足している」139人
- ・「わからない」382人

※「不足している」と答えた方にお聞きします。

#### 問14-1 不足していると思われる施設は何ですか？

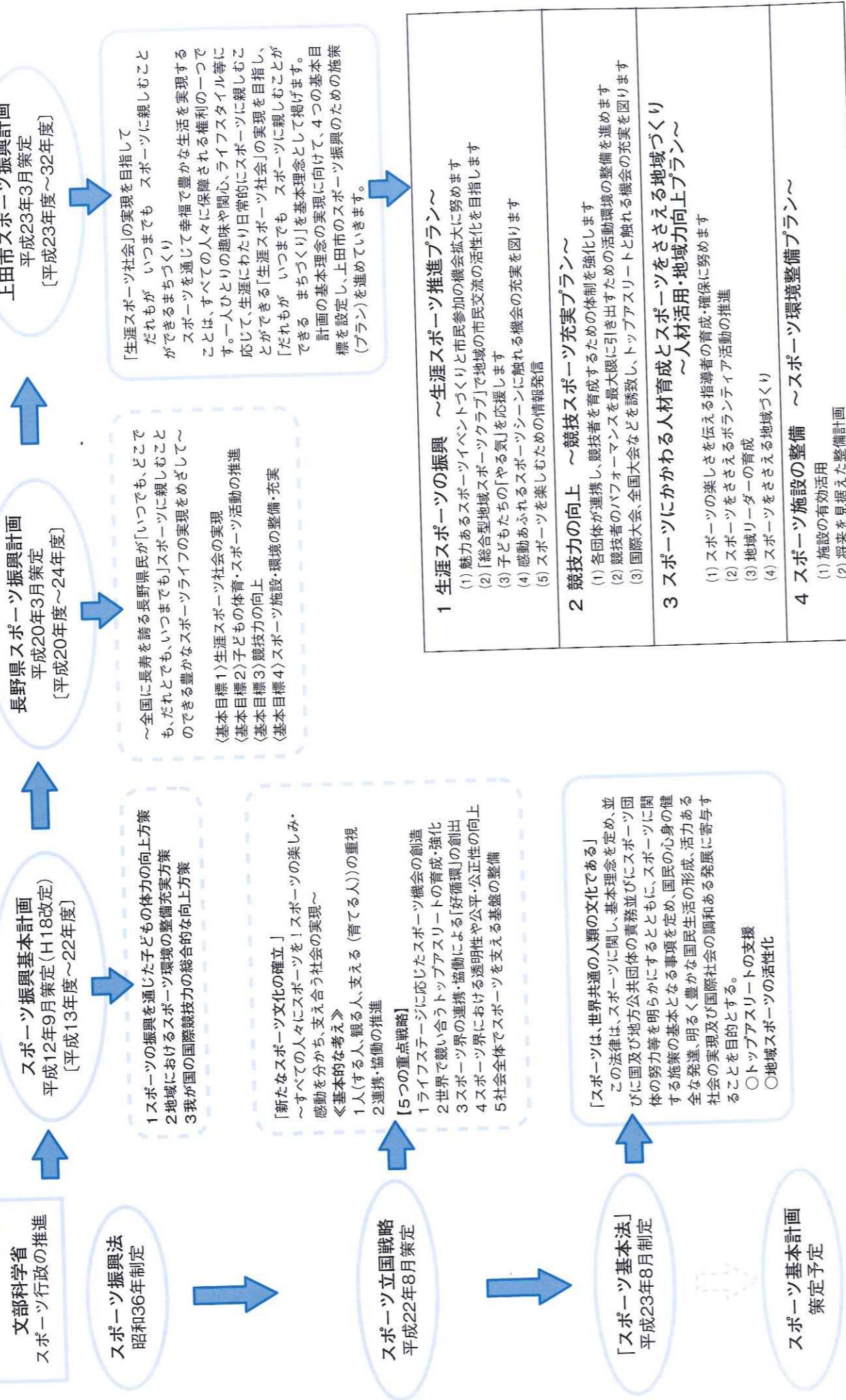
- ・1位「体育馆」43人
- ・2位「テニスコート」19人
- ・3位「サッカー場」16人
- ・4位「プール」15人
- ・5位「グラウンド」14人
- ・その他では、陸上競技場やトレーニングジム等の施設や、ジョギング・ウォーキング・サイクリングなどのコースが不足しているという回答があった。
- ・「サッカー場」については芝グラウンド、「テニスコート」では屋内と回答した人が多かった。



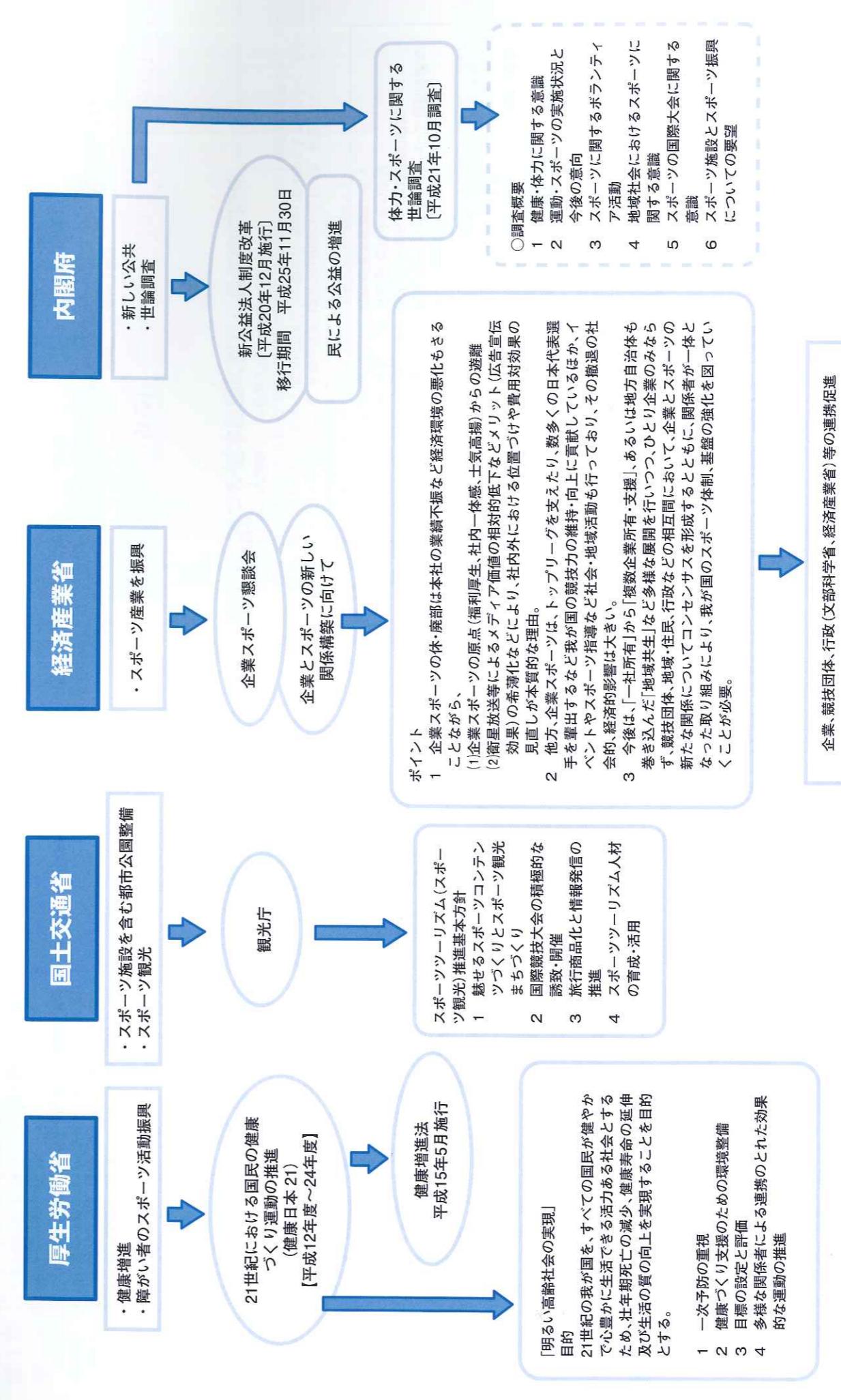
#### 加盟団体アンケート調査 [組織・役員の編成状況について]

加盟団体名	規約等の有無	役員	会員数	内訳	性別	年齢(年)	会員登録年	地城別	支部数				会員の増減	上部団体	会員の会費	役員・指導者の会費	財政支援			
									部委員会等数	会員登録者数	男子	女子	高田	喜岩	市外	合計	受入有資者	受入無資者	会員登録者数	
1 上田市軟式野球連盟	○	15	2	H21.4 ~H23.4	60	60	0	25	3	0	6	34	2	x	○	○	○	○	○	○
2 上田ソフトテニスクラブ	○	59	2	H21.4 ~H23.4	190	112	78	10	2	0	17	29	11	x	○	○	○	○	○	○
3 上田陸上競技協会	○	21	2	H22.1 ~H24.12	130	125	5	20	5	15	60	9	x	○	○	○	○	○	○	
4 上田スキークラブ	○	19	2	H21.4 ~H24.3	128	104	24	2	0	28	32	4	x	○	○	○	○	○	○	
5 上田卓球協会	○	10	2	H21.4 ~H23.3	150	-	-	70	2	0	74	5	x	○	○	○	○	○	○	
6 上田ボクシングクラブ	○	13	1	H22.4 ~H23.4	26	26	0	0	0	0	10	0	x	6	○	○	○	○	○	
7 上田市サッカー協会	○	15	2	H22.4 ~H24.3	1910	1875	35	300	250	80	250	880	6	x	○	○	○	○	○	○
8 上田市バスケットボール協会	○	17	2	H22.4 ~H24.3	200	170	30	0	0	0	0	7	x	20	○	○	○	○	○	
9 上田市相撲連盟	○	6	1	H22.4 ~H23.3	79	78	1	2	0	0	1	0	x	1	○	○	○	○	○	
10 上田柔道協会	○	22	2	H22.4 ~H23.3	69	54	15	2	1	2	10	15	1	x	○	○	○	○	○	○
11 上田市リバーボール協会	○	33	2	H22.3 ~H24.3	47	40	7	3	2	1	5	11	0	x	10	○	○	○	○	○
12 上田水泳協会	○	12	2	H22.4 ~H24.3	150	110	40	10	15	2	5	32	10	x	10	○	○	○	○	○
13 上田剣道連盟	○	32	2	H21.4 ~H23.3	109	60	49	0	0	0	0	4	x	19	○	○	○	○	○	
14 上田市弓道協会	○	13	2	H22.2 ~H25.3	80	60	20	0	0	0	0	0	x	15	○	○	○	○	○	
15 上田ハンドボール協会	○	11	2	H23.4 ~H25.3	937	650	287	0	0	0	0	7	x	16	○	○	○	○	○	
16 上田テニス協会	○	14	2	H21.4 ~H23.3	30	20	10	5	0	0	4	9	x	17	○	○	○	○	○	
17 上田山岳会	○	7	2	H22.1 ~H23.12	1500	1450	50	0	0	0	0	10	x	18	○	○	○	○	○	
18 上田ソフトボール協会	○	32	2	H21.1 ~H23.12	550	275	275	50	20	10	30	110	5	x	19	○	○	○	○	○
19 上田ドミントン協会	○	25	なし	H22.4 ~H23.3	86	60	26	1	0	1	16	18	0	x	18	○	○	○	○	○
20 上田アーチェリークラブ	×	6	2	H22.4 ~H24.3	240	120	0	0	0	0	0	0	x	20	○	○	○	○	○	
21 上田空手協会	×	5	1	H22.4 ~H23.3	40	10	30	0	0	1	0	1	x	21	○	○	○	○	○	
22 上田乗馬部	○	3	5	H22 ~H27	63	50	13	0	0	0	0	0	0	x	22	○	○	○	○	○
23 少林寺拳法連盟上田支部	○	8	2	H22.4 ~H25.3	24	19	5	1	0	0	1	0	x	23	○	○	○	○	○	
24 上田気道連盟	×	4	なし	H22.4 ~H24.3	320	-	-	-	-	-	0	0	x	24	○	○	○	○	○	
25 上田市ゴルフ協会	○	7	2	H22.4 ~H24.3	140	140	40	10	1	1	5	17	0	x	25	○	○	○	○	○
26 上田市少年野球連盟	○	8	2	H21.3 ~H23.3	51	48	3	5	0	0	6	11	0	x	26	○	○	○	○	○
27 上田市ラグビーフットボール協会	×	-	-	-	24	220	110	110	70	30	30	130	3	x	27	○	○	○	○	○
28 上田市ゲートボール協会	○	15	2	H22.4 ~H24.3	48	18	30	1	2	1	3	7	0	x	28	○	○	○	○	○
29 ボクシング連盟上田支部	×	4	2	H22.1 ~H23.12	370	120	250	10	5	0	5	20	2	x	29	○	○	○	○	○
30 上田市スマッシュゴルフ協会	○	23	2	H22.1 ~H23.12	1300	850	450	0	0	0	0	4	0	x	30	○	○	○	○	○
31 上田市マレットゴルフ協会	○	37	2	H22.1 ~H23.12	185	185	30	30	20	20	100	0	x	31	○	○	○	○	○	
32 上田市早起き野球連盟	○	8	2	H22.4 ~H24.3	180	50	130	0	0	0	0	0	x	32	○	○	○	○	○	
33 上田市武術太極拳連盟	×	5	2	H22.1 ~H23.12	48	18	30	1	2	1	3	7	0	x	33	○	○	○	○	○
34 上田ウォーキング協会	○	4	2	H22.4 ~H24.3	14	11	3	1	0	0	4	5	0	x	34	○	○	○	○	○
35 上田レスリング協会	○																			

## 国・県・市のスポーツ振興施策の経緯



スポーツに興味がある



## スポーツ振興計画 平成12年9月策定 平成18年改定

財日本体育協会

## 21世紀の国民スポーツ振興方策 平成13年1月策定(平成20年3月改定)

### 計画の概要

- 1 スポーツの振興を通じた子どもの体力の向上方策  
子どもの体力について、スポーツの振興を通じ、その低下傾向に歯止めをかけ、上昇傾向に転ずることを目指す。  
(1) 政策目標達成のため必要不可欠である施策  
① 子どもの体力の重要性について正しい認識を持つための国民運動の充実  
(2) 学校と地域の連携による、子どもを惹きつけるスポーツ環境の充実  
(3) このための基礎的施策  
① 教員の指導力の向上  
② 子どもが体を動かしたくなる場の充実  
③ 児童生徒の運動に親しむ資質・能力や体力を培う学校体育の充実  
(4) 運動部活動の改善・充実
- 2 地域におけるスポーツ環境の整備充実方策  
生涯スポーツ社会の実現のため、できるかぎり早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50パーセントとなることを目指す。  
(1) 政策目標達成のため必要不可欠である施策  
○総合型地域スポーツクラブの全国展開  
① 全国各市区町村において少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成。(将来的には中学校区程度の地域に定着)  
② 2010年までに、都道府県において少なくともひとつは広域スポーツセンターを育成。(将来的には広域市町村単位に設置)  
(2) このための側面的施策  
① スポーツ指導者の養成・確保・活用  
② スポーツ施設の充実  
③ 地域における約定なスポーツ情報の提供  
④ 住民のニーズに即応した地域スポーツの推進
- 3 我が国の国際競技力の総合的な向上方策  
オリエンピックにおけるメダル獲得率が、夏季・冬季合わせて3.5パーセントとなることを目指す。  
(1) 政策目標達成のため必要不可欠である施策  
① ジュニア期からトップレベルに至るまで一貫した理念に基づき最適の指導を行なう貫徹指導システムの構築  
② ナショナルトレーニングセンター・中核拠点施設の早期整備や競技別強化拠点の指定と支援  
③ 指導者の養成・確保(専任化の促進、ナショナルコーチアカデミー制度の創設等)  
④ 競技者が安心して競技に専念できる環境の整備  
(1) このための側面的施策  
① スポーツ医科学の活用  
② アンチドーピング活動の推進  
③ 國際的又は全国的な規模の競技大会の円滑な開催等  
④ プロスポーツの競技者等の社会への貢献の促進

### 計画策定の趣旨

人々の日常生活での自由時間の増加や生きがいづくり、子どもの心身の発育・発達、生活習慣病など健康面の諸問題などに対し、スポーツの持つ身方面にわたる効果が期待されています。

### 計画策定の側面的施策

市民一人ひとりが自らスポーツをする機会を積極的に開拓するため、計画を策定します。

### ●計画の位置づけ

この計画は、国の「スポーツ振興基本計画」「スポーツ立国戦略」を踏まえ、「第1次上田市総合計画」の教育分野に示している「スポーツ振興」のステージでの施策をより具体化するものとして位置づけています。

### ●計画の期間

平成23年度(2011年春)～平成32年度(2020年春)

### ●計画の実現に向けた年次計画

計画期間中は、1年ごとに実施する年次計画

### ●計画の位置づけ

計画は、市の「スポーツ振興計画」

### ●計画の実現に向けた年次計画

# (財)上田市体育協会・丸子体育協会・真田町体育協会統合に関する基本協定書

財団法人上田市体育協会、丸子体育協会及び真田町体育協会の統合に関し、次のとおり基本事項について協定する。

## 1 統合目的

スポーツは、人生をより豊かに充実させるとともに、身体的・精神的な欲求に応える世界共通の文化のひとつである。

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠なものであるが、今後高齢化の進展および子どもたちの生活習慣の乱れや生活の便利さ等から体を動かす機会の減少が危惧されている。

こうした背景の中で、誰もが健康で明るい生活を営むために、生涯にわたりスポーツに親しむスポーツ習慣を求ることは極めて大きな意義を有している。

さて、財団法人上田市体育協会は競技スポーツ団体等の集合体として設立され、丸子体育協会・真田町体育協会はスポーツ活動を通じて地域コミュニティの拠点として発展してきた歴史を有している。

このように、市内3体育協会は今までそれぞれの地域でスポーツ振興の拠点としてその役割を果たしてきた。

上田市合併に伴い、旧上田市・丸子町・真田町の各体育協会では統合への機運が盛り上がり前向きに検討がなされてきた。

その経過を踏まえ、各協会が培ってきた活動を尊重・継続し、各地域の歴史・文化・自然の特性を生かした“スポーツによるまちづくり”を一層推進することは重要且つ必要なことである。

3体育協会加盟 73 団体（会員1万8千名余）がひとつになり、現在大会参加者数6万人から8万人を目指し活動を展開する中で市民の健康増進と競技力向上を図り、明るく楽しく挨拶のこだまする“健康元気都市うえだ”的構築に向けて、その一翼をも担うものである。

また、教育委員会の「上田市スポーツ振興計画」に呼応して本協会は国内の各体育協会に先駆けて「スポーツ振興ビジョン」の策定を目指している。

この統合により新しく誕生する「財団法人上田市体育協会」は「スポーツ振興ビジョン」に基づき更なる飛躍を目指し、国際化社会の到来に合わせた青少年育成のための国際スポーツ交流や市民や小中高大学、企業、レクリエーション等のスポーツ関連団体との連携をより深めながら、市民の健康増進に向けての事業（健康寿命の延伸）を通して活動の充実を図って参りたい。

今後、本協会は統合により効率性を高めながら各団体の有する専門性やノウハウを有効に活用し、上田市のスポーツ統括団体として機能を發揮し、行政と一体となった生涯スポーツの振興に努めるものとする。

## 2 統合経緯

平成15年5月 9日	上田市・丸子町・真田町・武石村体育団体懇談会
” 8月 4日	上田市・丸子町・真田町・武石村体育団体懇談会
平成18年5月 10日	上田・丸子体育協会懇談会
” 6月 16日	上田・真田町体育協会懇談会
平成20年8月 3日	上田・真田町体育協会懇談会
” 8月 6日	上田・丸子体育協会懇談会
平成21年7月 2日	上田・丸子・真田・武石地域体育団体事務局会議
平成22年1月 27日	体育協会事務局担当者会議
” 3月 17日	市内体育協会の統合に向けた調整会議（教委）
平成23年1月 20日	丸子・上田市体育協会懇談会
” 1月 21日	武石スポーツクラブ・上田市体育協会事務担当懇談会
” 1月 31日	真田町・上田市体育協会懇談会
” 2月 4日	第1回3体育協会事務担当者会議
” 2月 15日	第2回3体育協会事務担当者会議
” 2月 23日	真田町体育協会理事会にて承認
” 3月 1日	第3回3体育協会事務担当者会議
” 3月 11日	第4回3体育協会事務担当者会議

平成23年 3月 19日	丸子体育協会総会にて承認
” 3月 23日	財上田市体育協会理事会・評議員会にて承認
” 3月 25日	第5回3体育協会事務担当者会議
” 4月 1日	市内3体育協会統合協定仮調印式
” 6月 15日	第6回3体育協会事務担当者会議
” 6月 21日	体育協会統合に伴う視察（財団法人松本体育協会）
” 6月 24日	体育協会統合に伴う視察（一般財団法人上越市体育協会）
” 7月 11日	第7回3体育協会事務担当者会議
” 7月 22日	体育協会統合に伴う視察（佐久市体育協会）
” 8月 9日	体育協会統合に伴う視察（伊那市体育協会）
” 8月 30日	第1回3体育協会正副会長会議
” 9月 22日	第8回3体育協会事務担当者会議
” 9月 29日	第2回3体育協会正副会長会議
” 11月 11日	第3回3体育協会正副会長会議
” 12月 17日	市内3体育協会統合基本協定調印式

## 3 統合団体

- (1) 財団法人上田市体育協会
  - ・設立年月日 昭和21年4月（財団設立 昭和57年5月）
  - ・組織等 理事17名、監事2名、評議員37名、事務局3名（プロパー職員）
- (2) 丸子体育協会
  - ・設立年月日 昭和49年4月
  - ・組織等 理事20名、監事2名、事務局4名（市職員が兼務）
- (3) 真田町体育協会
  - ・設立年月日 昭和52年4月
  - ・組織等 理事18名、監事2名、事務局1名（市職員が兼務）

## 4 統合時期

平成24年4月1日(日)とする。

## 5 名称及び事務所

「財団法人上田市体育協会」とし、丸子体育協会は、「財団法人上田市体育協会 丸子体育協会」、真田町体育協会は、「財団法人上田市体育協会 真田町体育協会」と称し、事務所は、従前のとおり3体育協会内に置く。

## 6 事業内容

統合前の組織で事業を継承するとともに、引き続き地域でのスポーツ活動の確保を図る。なお、スポーツ少年団の登録事務については、財上田市体育協会事務局で行う。

## 7 機関・役員構成

平成24年度3体育協会の機関構成は、統合前と同様に運営する。財上田市体育協会の機関構成については、平成25年4月旧法人である財団法人から新制度の一般法人への移行に伴い変更する。また、理事会については、競技スポーツと生涯スポーツ及び各地域体育協会がバランスよく推進できる組織体制を構築する。

ただし、統合時については、法人の新制度への移行を目前に控えていることから、現在の理事等の任期期間を考慮して暫定的に経過措置を設け、丸子体育協会・真田町体育協会より理事各1名を選任し、財上田市体育協会の副会長に就任する。

また、統合後に加盟団体の運営が円滑に行われるよう早急に各体育協会加盟団体連絡会の設置を進める。

## 8 疑義の解決方法等

本協定に定めのない事項又は疑義を生じた事項については、その都度協議の上決定するものとする。

【統合団体会員数等】

区分	財上田市体育協会	丸子体育協会	真田町体育協会	計
団体数	37団体	19団体	17団体	73団体
登録人数	14,894	1,902	1,229	18,025
事業数	283	285	107	675
参加者数	43,244	11,651	2,519	57,414

【平成23年度事務局体制】

財上田市体育協会	丸子体育協会	真田町体育協会
事務局長 1名	事務局長 1名	事務局長 なし
事務局員 1名	事務局員 1名	臨時職員 1名
臨時職員 1名	臨時職員 1名	
体育協会プロパー職員	市職員が兼務	市職員が兼務

【平成23年度補助金額】

(単位:千円)

	上田市体育協会	丸子体育協会	真田町体育協会	合計
競技団体	1,450	1,455	1,036	3,941
事業費	1,670	545	364	2,579
人件費	11,047	0	0	11,047
スポーツ少年団	2,050	300	0	2,350
合計	16,217	2,300	1,400	19,917

上田市内3体育協会統合協議会名簿

財上田市体育協会		丸子体育協会		真田町体育協会	
会長	森 大和	会長	小林 秀男	会長	木島 久文
副会長	濱 勉	副会長	田中 武人	副会長	可知 義和
副会長	増沢 延男	副会長	下村 栄	副会長	佐藤 忠睦
副会長	丸山 俊治	副会長	両角 澄子		
		副会長	福井とし子	理事長	関谷 信男
事務局長	宮下 省二	事務局長	中山 良一	事務担当者	中川ひろ子
事務局員	西川 孝昭	事務局員	高野 計典		



## 財団法人 上田市体育協会

〒386-0025 長野県上田市天神 2 丁目 4-74

上田市教育委員会内

TEL.0268-27-9400 FAX.0268-21-3100